

冷凍式エアドライヤ 小型・中型



コンプレッサーエアの出口付近に設置

冷凍式エアドライヤはコンプレッサーで圧縮された空気を強制的に冷却し、水分を除去排出する装置です。

圧力下露点4℃が可能

TUBE IN TUBEの熱交換器と容量調整弁による冷却温度調整方式により、圧力下露点4℃が可能。

省エネルギー化

通過するエア量に応じて、冷凍能力自動調整機能を備え、各機構の耐久性が向上しました。

※冷凍式エアドライヤの先の配管が長いと再び水滴が発生する場合がありますが、その水滴は配管末端の「水とりくん」で除去することを推奨します。

形式	NH-8022S	NH-8037S	NH-8055S	NH-8075S	NH-8110M	NH-8150M	NH-8220M	NH-8300M	NH-8370L	NH-8550L	
項目											
適用コンプレッサ (kW)	2.2 以下 [1.5 以下]	3.7 [2.2]	5.5 [3.7]	7.5 [5.5]	11 [7.5]	15 [11]	22 [15]	30 [22]	37 [30]	55 [37]	
処理空気量 (m ³ /min)	50Hz	0.27	0.47	0.70	1.10	1.57	2.35	3.33	4.70	6.07	
	60Hz	0.33	0.57	0.85	1.32	1.89	2.83	4.01	5.66	7.31	
使用条件	入口空気圧力 (Mpa)	0.14~1.0									
	入口空気温度 (°C)	MAX 60									
	周囲温度 (°C)	2~40									
圧力下露点 (°C)	10 [4]										
大気圧露点 (°C)	-17 [-22]										
電源	単相 100V 50/60Hz		単相 200V 50/60Hz			三相 200V 50/60Hz					
電流 (A)	2.5	3.0	1.8	2.5	1.8	2.7	3.2	4.0	4.0	5.5	
外形寸法 (mm) (幅 × 奥行 × 高さ)	340 × 360 × 350		485 × 475 × 475			400 × 675 × 600		450 × 720 × 760		550 × 1075 × 910	
接続口径 (入口、出口、ネネジ)	RC 3/8		RC 1/2		RC 3/4		RC 1		RC 1・1/2		RC 2
重量 (kg)	15	17	30	32	55	60	70	76	135	180	

※処理空気量は温度20℃、絶対圧力760mmHg、相対湿度65%の条件下段(50Hz)下段(60Hz)における数値を体積で示しています。

※適用コンプレッサは定格条件に対するエアコンプレッサの定格出力を示します。

※[]内の数値は圧力露点が4℃の場合を示します。

※アフタークーラー付冷凍式エアドライヤ・吸着式エアドライヤは別途相談に乗ります。

冷凍式エアドライヤ

適用コンプレッサ: 2.2~37kW

高温入気仕様 (MAX80°C)

気温が高くなる場所でも安心!

型式: SDK シリーズ



膜式ドライヤユニット

出口流量: 200L/min & 500L/min

大気圧露点: MAX-30°C

湿気とりくんSKシリーズの手前にフィルターを装着したユニット型式

型式: ADR シリーズ



PSAヒートレスドライヤ

吐出流量: 20~50L/min

露点: -50°C (大気圧)

本装置は吸着剤(ゼオライト)を用いて空気中の湿分を吸着し、低露点の空気を精製します。

型式: SHD シリーズ



写真はコンプレッサー内蔵製品